

第9回ワーキンググループ 議事要旨

開催日時	令和2年10月15日（木）14時00分～16時00分
開催場所	経済産業省別館 104 各省庁共用会議室（1階）
議 題	（1） 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施等の取組状況の把握について （2） 報告事項 （3） その他
議 事 要 旨	
（1） 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施等の取組状況の把握について 《これまでの経過と今後の進め方について（案）》 ・出席者からの意見は特になし。 《高齢者の医療の確保に関する法律に基づく保健事業の実施等に関する指針改正について》 ・出席者からの意見は特になし。 《高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施等の取組状況の把握および実施状況調査案について》 ○ 広域連合調査案について ・広域連合については、既に全広域で実施していることが前提のため、全項目の回答としてよいのか。 ⇒そのようにして問題ないと認識している。 ・健康課題分析にあたる人材に関する課題、分析実施上の課題について、少し回答しにくいという部分があるがよいのか。 ⇒課題分析実施上の課題に「どのデータを使って何を分析すればよいかわからない」の項目を別途追加する。 ・健康課題等に関する分析について、課題項目は、まず「人・モノ・費用・制度」を選択し、その次に詳細を質問する等、順番を見直し、構成の整理を行う方がよいのではないか。 ⇒こちらについては、構成の整理をさせていただきたい。 ・KDB活用の状況については、課題といったマイナス面の設問だけでなく、KDB活用による成果等のプラス面についても項目も追加し、可視化することで、良い後押しになると思うがどうか。 ⇒1問追加させていただければと思う。 ・直接実施している事業内容について、選択肢を置かなくてもよいのか。自由記載とすると、集計時に分類するという作業が発生してくると思うが、問題ないか。 ⇒各都道府県に特色があるので、フリーハンドで良いと思う。 ⇒広域連合の直接実施事業等は自由記述方式とし、記載内容の集計・分類方法については事務局で別途検討のうえ、次回ワーキング等で結果を提示する。 ・一体的実施に沿った形ではないが、広域連合が独自の財源で市町村に補助金という形で取組みを実施しているところについて、全国の状況を集計できると良いと思うがどうか。 ⇒調査案の9番目の項目として、「一体的実施と類似する事業で独自の取組として推進していること」について、自由記入できる項目を追加する。	

○ 市町村調査案について

- ・ 庁内体制における自治体幹部とは、市長、副市長、理事者等のことか。
⇒ 首長等をイメージしている。
- ・ 他組織からの支援に入れられるか分からないが、退職された保健師や管理栄養士等がメンバーにいる在宅保健師等会は、各種保健事業でご活躍していただきており調査に入れていただきたい。また、今後の一体的実施でもぜひ在宅保健師等会の活用を検討していただきたい。
⇒ 明記はしていないが、現状のままでも回答頂けると考えている。明確にできるか再度、検討する。
- ・ ハイリスクアプローチの実施項目に栄養・口腔・運動リハビリテーションを一体的に実施する項目、ポピュレーションアプローチの実施項目にオーラルフレイル対策普及啓発に関する項目、事業実施体制の職種に、摂食・嚥下に関する言語聴覚士を追加するようご検討いただきたい。
⇒ ポピュレーションアプローチの実施項目、「通いの場等での低栄養、筋力低下等の状態に応じた指導支援」に、「口腔オーラルフレイル等の状況に応じた指導支援」を追加する。
- ・ フレイルについて、疾患としてはまだ確立したものがいないため、具体的にどのようなものか説明を加えたほうが良いのではないか。
⇒ ご指摘を踏まえ、説明を補足する。
- ・ 健康サポート薬局の中には、高齢者の健康を維持するために関わりを持つものも含まれている。服薬に係る相談や指導はポピュレーションアプローチの実施項目にも入れていただきたい。
⇒ 文言は検討させていただくが取れるように考える。
⇒ ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチについては、一つ一つ入れだすと切がないため、ある程度割り切った考え方が必要ではないか。
⇒ 考え方を整理したうえで適切に対処させていただきたい。

(2) 報告事項

《新型コロナウイルス感染症にかかる対応について》

⇒ 出席者からの意見は特になし。

《保険者インセンティブについて》

⇒ 出席者からの意見は特になし。

以 上